

SAPアップグレード最適化セミナー

基幹システムのスリム化を目指して

～ クラウド化、IFRS対応を含めたSAPアップグレード計画策定のポイント ～

SAPシステムのアップグレードは、導入バージョンのサポート期限だけでなく、ハードウェア更新やIFRS対応などを含めて計画化することが、将来のTCO削減やシステムのさらなる活用のために重要となります。

本セミナーでは、SAPシステムのアップグレード計画策定の進め方とともに、合わせて検討・計画すべきテーマであるIFRS対応やクラウド化についてご紹介します。

◆セミナー概要

テーマ	概要
【第一部】 SAPの製品戦略と SAP ERP 6.0がもたらす価値 SAPジャパン株式会社 カスタマーイノベーションセンター センター長 松村 浩史	<ul style="list-style-type: none"> ■現在ITの世界では、クラウドやオンデマンド、SaaSといったコンセプトやテクノロジーが注目を浴びています。 ■本セッションでは、SAPの製品戦略とSAPがご提案するタイムレスソフトウェアの考え方をご紹介し、クラウドやオンデマンド、SaaSとの関係を解説するとともに、SAP ERPを含むSAP Business Suiteの位置づけ、SAP ERP 6.0へのアップグレードがもたらす価値について、最新情報とともにご紹介いたします。
【第二部】 SAPアップグレード計画策定のポイント 株式会社JSOL ERP開発第七部 課長 渋谷 和秀	<ul style="list-style-type: none"> ■SAPシステム・アップグレードを契機とした基幹システムの高度化・スリム化を目指す企業様のために、アップグレードプロジェクト計画のエッセンスを事例を交えながらご説明致します。 ■また、多くのアップグレードプロジェクトを成功に導いた弊社実績・ノウハウを活用した弊社オリジナルアップグレード影響調査ツールによるアセスメントをはじめ、弊社のアップグレードサービスをご紹介します。
【第三部】 基幹システムでのクラウド活用 株式会社JSOL テクニカルソリューション部 部長 山添 文誠	<ul style="list-style-type: none"> ■これまで、基幹システムの新規導入やパッケージのバージョンアップの都度にH/Wの大きな投資が必要となってきました。 ■本セッションでは、SAP基幹システムに要求される「性能要件」、「運用要件」、「保守要件」、「信頼性要件」を満たしながら、従来の購入型H/W調達より、TCOを削減できるクラウドサービスをご紹介します。
【第四部】 SAP導入企業におけるIFRS対応のポイント 株式会社JSOL シニアコンサルタント 藤田 清和	<ul style="list-style-type: none"> ■SAPのアップグレードを控えた企業にとり、IFRS対応を効率的に行う為には、アップグレード準備と併せて、IFRS導入に向けた計画化が必要になります。 ■SAPシステムにおけるIFRS対応の仕組みをご紹介しながら、SAPのアップグレードと合わせて検討・計画すべき論点を具体的にご説明します。更にIFRS導入に伴う業務、及び、システムへのインパクト分析とその実行計画を策定するIFRSアセスメントソリューションを事例に基づいてご紹介いたします。

※セミナーのスケジュール・内容については、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

◆開催概要

- 日時 平成22年 7月21日(水) 14時30分～17時00分 (14時10分より受付開始)
- 会場 住友クラブ 3階洋室5号
- 定員 40名(事前予約制)
締め切り日以前に定員に達した場合は、その時点で締め切らせていただきます。
- 対象 SAP ERPアップグレードを検討されている情報システム部門の責任者、実務ご担当者
(一般のお客様を対象としたセミナーとなっておりますので、同業者の方のご受講はご遠慮くださいますようお願い申し上げます)
- 参加費 無料 (ご参加いただいた際にアンケートへの協力をお願い致します)

◆会場案内

住友クラブ

〒550-0002
大阪市西区江戸堀1丁目13番10号 (成泉ビルディング)

交通(地下鉄)
地下鉄四ツ橋線肥後橋駅下車10号出口よりすぐ

